

乳腺・甲状腺外科専攻医研修カリキュラム

1 目標研修

乳腺・甲状腺疾患の診断と治療ができるための能力を身につける。
日本外科学会専門医になるために必要な知識、技能を身につける。
研修医、医学生に対して適切な教育・指導ができる。

2 研修内容

(1) 1年次 / 2年次 (乳腺)

診療技術

- ・腫瘍自覚患者の所見がとれる
- ・マンモグラフィの所見を述べる事ができる
- ・抗癌剤点滴ルートの確保ができる

検査手技

- ・浸潤癌、非浸潤癌、良性疾患の触診、MMG、US 所見を説明できる

病理学的知識

- ・乳癌取扱い規約を理解する

手術手技

- ・乳腺良性腫瘍を摘出することができる
- ・乳癌手術の第1助手ができる
- ・乳癌症例に対して、乳房切除ができる
- ・閉創（連続埋没縫合）ができる
- ・乳癌症例摘出リンパ節の標本整理ができる

学術

- ・症例検討会で手術症例の提示と質疑応答が適切にできる

(2) 1年次 / 2年次 (甲状腺)

診療技術

- ・腫瘍自覚患者の所見がとれる
- ・甲状腺機能異常症例の所見を述べる事ができる

検査手技

- ・甲状腺腫瘍症例の触診、US 所見を説明できる

病理学的知識

- ・甲状腺癌取扱い規約を理解する

手術手技

- ・甲状腺良性腫瘍を摘出することができる
- ・甲状腺癌・バセドウ病手術の第1助手ができる
- ・閉創（連続埋没縫合）ができる
- ・甲状腺癌摘出標本（甲状腺・リンパ節）の整理ができる

学術

- ・症例検討会で手術症例の提示と質疑応答が適切にできる

（3）3年次（乳腺）

診療技術

- ・乳癌症例の治療方針が決定できる
- ・補助療法について理解し、説明できる

検査手技

- ・乳腺腫瘍症例のUS検査、MMG読影ができる
- ・穿刺吸引細胞診を施行することができる

病理学的知識

- ・悪性疾患、良性疾患の病理学的特徴を理解する

手術手技

- ・乳房温存手術を含め、すべての乳癌手術の術者ができる
- ・センチネルリンパ節生検ができる

学術

- ・学会発表ができる
- ・症例報告の論文を作成できる

（4）3年次（甲状腺）

診療技術

- ・甲状腺癌症例の治療方針が決定できる
- ・術後のフォローアップについて理解し、説明できる

検査手技

- ・甲状腺腫瘍症例のUS検査ができる
- ・穿刺吸引細胞診を施行することができる

病理学的知識

- ・悪性疾患、良性疾患の病理学的特徴を理解する

手術手技

- ・甲状腺癌手術の術者ができる
- ・バセドウ病の術者ができる

学術

- ・学会発表ができる
- ・症例報告の論文を作成できる

週間スケジュール

病棟回診：月～金，8：00～9：00

手術：月，水，金に3例/週程度

術前カンファレンス：火，18：00～

術後カンファレンス：木，18：00～

マンモトーム生検：水，午後